

令和元年度第1回 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

石鳩岡神楽・土沢神楽調査委員会 会議録

1 開催日時

令和元年9月17日（火） 午後2時30分～午後4時

2 開催場所

花巻市石鳥谷町八幡第4地割161番地

花巻市石鳥谷総合支所 3階 3-2・3-3 会議室

3 出席者

(1) 委員 6名

中村良幸委員長（花巻市文化財保護審議会委員）

中嶋奈津子副委員長（佛教大学非常勤講師、日本民俗学会会員）

川向富貴子委員（岩手県立博物館専門学芸員）

菊池康一委員（早池峰岳流石鳩岡神楽保存会会長）

吉田隆一委員（早池峰大償流土沢神楽保存会会長）

小原伸博委員（花巻市博物館学芸係長）

(2) オブザーバー 1名

澤口恵美 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課文化財担当主任

(3) 事務局（教育部文化財課）4名

平野克則課長

小原克仁課長補佐

小田島英明文化財係長

吉田祐子臨時補助員

4 議題

(1) 調査実施状況及び報告書の原稿作成状況について

(2) 今後の予定について

5 議事録

(1) 開会（進行：小原課長補佐）

（小原委員へ委嘱状交付）

(2) 挨拶

平野課長：本日はお忙しいところ、今年度第1回目の調査委員会に、委員の皆様、そして、県教委の澤口主任様にご出席をいただき、誠にありがとうございます。石鳩岡・土沢の両神楽の調査につきましては、平成27年度より委員の皆様のご協力により順調に調査が進んでおり、今年度はいよいよ調査報告書を刊行することとなりました。本日の委員会は、皆様からいただきました原稿をご覧いただき、不足している部分等について協議いただきますので、よろしくお願いたします。委員の皆様には、今後とも調査にご協力いただきますようお願いし、挨拶といたします。よろしくお願いたします。

(3) 報告・協議（議長：中村委員長）

中村委員長：ご苦労様です。それでは、さっそく報告・協議に入りたいと思います。(1) 調査実施状況及び報告書の原稿作成状況について、事務局から願いたします。

① 調査実施状況及び報告書の原稿作成状況について

小田島係長から、資料No.1により調査実施状況及び報告書の原稿作成状況について説明。

(協議)

中村委員長：調査に至る経過の原稿も未作成ですが、両神楽の保存会員等に聞き取り調査した分をどうするかということが一番決まっています。この部分のボリュームは、何ページくらいありましたか？

小田島係長：この項目の分のみで、現状（音声を文字起こしした状態）では両神楽の分を合わせて130ページほどあります。

中村委員長：先ほどの説明にあった、現時点での提出原稿の合計290ページの中には、この分も含まれていますか？

小田島係長：この分も含めて290ページです。

中村委員長：では、この分を調整するしかないでしょう。この分を含めて、本文を200ページくらいに収めないと、今後割り付け作業等を予定している写真図版を入れて、予定している合計250ページにするのは到底無理だと思われます。現時点での提出原稿は、本日は回し読み用として2部しか用意されていませんが、聞き取り調査分は文字起こしした状態なので、それだけのページ数になるわけです。それをいわゆるダイジェスト形式で必要な部分のみに縮めて、半分以下に持っていくという方式にするか、あるいは、一人ずつの聞き取りした内容をまとめて文章化して載せるか考えてみたところ、聞き取りはやはり聞いた形で書いていった方が、収まりがよい気がします。どのように詰めるか、130ページもあるのなら、相当詰めない。この分には、平倉神楽（弟子神楽）や佐々木隆さんからの聞き取り分も入っていますか？

小田島係長：平倉神楽の分は含まれていますが、佐々木隆さんの分は事務局の方でいただいていませんので、含まれていません。

中村委員長：実は、他に佐々木隆さんから聞き取りした分と、100歳のおばあさんから石鳩岡神楽について聞き取りした分もあります。

中嶋副委員長：おばあさんの分は、既に作成した文章の中にも、少しだけ記載しています。

中村委員長：それも聞き取りはしているので、現在、文字起こしをしてもらっているところですが、それを合わせるとおそらく140ページほど。それぐらいのページ数になると、どのような形式で報告書に入れるかという話になりますが、おそらく文章形式にすると何の味気もなくなります。聞き取りしている雰囲気は全然見えないと思います。そこで、ある程度不要な分をカットして必要な分だけをつなぎ合わせるような方式で半分以下にもっていくことを考えていますが、現時点で合計290ページというのは予想外に多いので、90ページ減らすとすれば、主にそこしか削れないのではないのでしょうか。

小田島係長：そうかもしれません。

川向委員：写真図版は、何ページくらいを予定していましたか？

中村委員長：現状からすると、50ページ程度に収める必要があると思われます。

川向委員：写真図版を紙ベースでプリントした製版と、フォトブックみたいな形で別に付けた形では、どちらの方が安くできるのでしょうか？

中村委員長：CD化とかですか？

川向委員：はい。

中村委員長：今はそれが主流のような感じですが、あまり好まれていないのでは。データ化しても、あまり見られないことが多いと思います。

川向委員：私の職場ではデジタルデータにするのが主流になっていたのですが、私は違和感がありませんでした。やはり一般の方にとっては違うのでしょうか？

中村委員長：特にお年寄りの方々にはあまり好まれないし、失くしてしまうことも多いようです。そこまでしなくてもよい気がしますので、あとは写真を、例えば8枚組で1ページの形式等で割り付けする方法もあるのでは。最終的には、写真図版でページ数を調整することもできると思います。できれば、カラーを数ページ入れて50ページくらいに収めたいところですが。

川向委員：いろいろな方々からお話を伺った成果と、そのご厚意を削るのはなんだか寂しいと思いましたので。

中村委員長：いえ、現状では雑談もたくさん入っています。だから、そのような部分をまず削って、要点的なところだけをまとめて、今後調整した方がよいと考えています。それで、おそらく半分以下になると思っています。また、他に多くのページを占めているのが、土沢神楽の舎文集であり、現状では3種類を載せていますので、最終的に全てこのまま載せるのかということがあります。1種類に調整すれば、ここでも20ページ程度は調整できると思われます。

吉田委員：基になっているのは同一のものなので、1つに調整してもよいと思います。

中村委員長：狂言というか、芝居をやっているものは面白いので載せた方がよいでしょう。

吉田委員：先ほどの事務局の説明にもあったとおり、神楽の沿革等の文章の中でも、歴代伝承者や年中行事・定期公演、現在の活動等について表形式のものなどと重複している部分があり、その部分も一部減らした方がよいと思います。

中村委員長：その部分も調整できるかと思います。土沢神楽の舎文集についても、どれがよいか選んでいただければ。

吉田委員：薄衣盈太郎さんが柿渋で書いたものがよいと思います。

中村委員長：では、それを中心として、1つに調整してみます。

吉田委員：当時、大償神楽の方が来て、「写してください」と頼んだら「語るから書け」と言われたということです。後で清書したらしく、漢字ではなく、ふりがなで書いてあります。

中村委員長：漢字がなくて、カタカナのふりがなだけで書いてあり、漢字をあてられないというのがあります。あれがおそらく一番古いものでしょうか？

吉田委員：そのとおりです。

中村委員長：それを中心に調整すれば、何ページか減らせます。石鳩岡神楽の古い舎文集は1つでしたが、土沢神楽は3つもあったので、それを絞る必要があると考えていました。あと、先ほどの話に戻り、聞き取り調査分をどうしますか？

中嶋副委員長：両面でこのページ数ですからね。

中村委員長：半分まで削れるかどうか。

菊池委員：難しいですね。

中村委員長：雑談の部分は削ってみますが、どこまで削れるでしょうか。

吉田委員：大まかに読みましたが、面白いです。

中村委員長：一番面白いかもしれません。調整してみますが、半分までは無理かもしれません。平倉神楽分も入れるとして、200ページを超えますね。

中嶋副委員長：聞き取り分を読んで、自分はこのような聞き方をしたのだなど、照れくさい感じがしました。話して下さった保存会の方にも、一度見ていただいた方がよいのでは。「これは恥ずかしいからカットして」などということもあるかもしれません。そのことによっても減ってくるのではないのでしょうか。

中村委員長：本人に削ってもらえれば一番よいかもしれません。それでは、雑談を削った上で、今月中に聞き取りした方々に送って読んでもらうようにしたいと思います。それで載せてよければ、そのまま載せます。やはり、この分を削りすぎると面白くない気がします。土沢神楽の舎文集と聞き取り調査の一部を減らすと、本文は250ページくらいでしょうか。予算的に合計300ページは無理でしょうか？

小田島係長：印刷業者に再確認する必要があると思います。

中村委員長：最後の項目の文献等一覧は、ページ数が多くなりそうですか？

小田島係長：文献の方は多くはなかったようですので、ページ数は多くはならないと思います。

中村委員長：つなぎの文章も必要になりますね。例えば、聞き取りしたものは、こういうことを行いましたと文章で1ページくらい。

小田島係長：前段で必要かと思います。

中村委員長：あと、両神楽で体裁が違っている部分があるでしょうか？

小田島係長：そうですね。歴代伝承者などの部分です。

吉田委員：歴代伝承者の部分が体裁が違うので、そこは事務局で体裁を統一してもらえれば。

中村委員長：事務局と相談して調整します。他に、最後の「総括」とか「まとめ」とかは必要でしょうか？「はじめに」も必要でしょうか？教育長のみか、もしくは、国選択に関わっていただいた元文化庁調査官にも依頼しますか？

平野課長：以前の会議でも話題になりました。

中村委員長：現在、その方の所属は東京文化財研究所だったでしょうか。私が連絡してもよいですが、概ね原稿ができてからでなければ、頼みにくいところです。概ねまとまってから検討します。「序文」とか「はじめに」とか、書いていただくのがよいかと思います。もちろん、教育長にも書いていただかなければいけないと思います。

平野課長：そのとおりです。

中村委員長：両神楽の国選択を推薦したのは、東京文化財研究所に行っている方なのです。以前にいろいろと調べに来ていただきましたので、可能であれば、その方に1～2ページ程度でも書いていただければと思います。その分は多くのページにならないでしょうから。そうすると、概ね文章は集まってきたので、先ほど協議した調整を行い、本文をなんとか200ページ程度に納めたいのですが、予算的に写真図版を含めて300ページは無理ですよ？

平野課長：改めて確認する必要があります。

中村委員長：300ページまでいけるなら余裕があるかもしれませんが、そこまでいけないのであれば、かなり削る必要があります。あとは写真図版ですよ。それは、協議の(2)のところで検討しますか？

小田島係長：それでは、(2)についても説明させていただいた上で、協議をお願いしたいと思います。

② 今後の予定について

小田島係長から、資料No.2により今後の予定について説明。

(協議)

中村委員長：調査報告書の印刷発注時期は1月の予定でしょうか？

小田島係長：印刷発注は12月中を予定しています。

中村委員長：12月の末頃でしょうか？

小田島係長：まだ、詳細は決めていませんが、12月下旬頃になる可能性はあるかと考えています。

中村委員長：そうすると、11月に予定している次の委員会の時点では、写真も含めて全て集まっていなければいけないということですね。

小田島係長：11月開催予定の委員会の際には、写真も含めて皆様に確認していただけるような状況にもっていければと思います。

中村委員長：年表や年間公演一覧は、概ね作成は済んでいるけれども、形式を合わせればよいということですね？歴代構成員名簿も同様ですか？

小田島係長：そうですね。年表や年間公演一覧は、両神楽から提出いただいたものの形式が異なっていたことから、事務局で同じ縦書きの表にまとめてみましたが、最終的にどのように載せるか決める必要があります。歴代構成員名簿は、石鳩岡神楽の方は系譜図の形式になっていますし、土沢神楽の方は報告書の文章形式に近い形になっています。あと、沿革等の文章の中に、歴代構成員名簿・年表・年間公演一覧と重複する内容が記載されている部分がありますので、その調整も必要かと思います。

中村委員長：分かりました。沿革等の文章のほか、先ほどお話しした聞き取り調査分や舎文の分も調整しますけれども、写真についても、どのように集めるか、どこまで載せるかなど、だいたい決めておく必要があります。通常は、上演しているところをカラーで載せたりするでしょうし、あとは例えば、奉納する神社や年間行事は既に写真を撮っています。問題は、古い神楽の写真があるかどうか。できれば、最も古そうな写真から載せていければ。舞っている人たちの様子が分かるような白黒写真を載せられればよいと思います。他に道具類や舎文の写真も撮らせてもらっていますし、御面や衣装をどこまで載せるか、これらを1個1個載せれば膨大な数になります。写真図版は50ページ程度を予定しますが、演目を全部載せれば、両神楽それぞれ20ページ程度になるでしょうから、どのように載せればよいと思いますか？ある程度の演目だけ載せて、それぞれ5～6ページくらいに収めますか？全部の演目は無理でしょうね？

菊池委員：全部の演目は無理ですね。

吉田委員：演目の解説も載せるのでしょうか？

中村委員長：各演目の詳細な解説までは載せない予定です。舎文集とかも載せるので、そちらで見ていただくこともできますし、また、例えば「三番叟がこういう舞で」と載せると互いの解釈が違う部分もあるかもしれないので、演目の解説は載せません。演目の写真をどのような形式で載せましょうか。全部載せるのは無理でしょうから、例えば良いものを1ページに3～4枚、同じ演目でも良いものは複数載せるという形で、それを両神楽合わせて20ページ程度とか、あと、道具類で御面や古い幕などを合わせて5～10ページ程度載せたり、

行事関係で歩いている様子もほしいですね。その他に石鳩岡神楽のヨーロッパ公演の写真があるはずですし、土沢神楽も県外公演の写真があると思います。例えば、伊勢神宮とかに行きませんでしたか？

吉田委員：伊勢には行きました。

中村委員長：そのような写真を何枚か集めていただき、複写などしていただければ、割り付け作業等ができると思います。

吉田委員：演目の写真は、多くなくてもよいです。

中村委員長：それほど多くは載せられないと思いますから、代表的なものを最初の方にカラーで何枚かずつ紹介して、それ以外は少しだけ載せ、他に特筆すべき行事のものや古い集合写真などがあればよいと思います。あとは道具類等も載せれば、50ページならぎりぎりですよ。

中嶋副委員長：私が原稿を提出した沿革や現在の活動等の文章の中に、演目や道具類などの写真を挿入しようとしていた部分があります。まだ挿入していない状態ですが、それはどのようにしますか？

中村委員長：入れてもよいですが、多くはないのですね？

中嶋副委員長：12枚ほど入れる予定でした。

中村委員長：12枚だと、単純に考えても3～4ページほどにはなりますね。

中嶋副委員長：その中で写真図版のページに載せるものと重複しそうなものがあります。例えば、伝授書とか海外公演の写真とかです。弟子神楽との写真とかも、その文章の中には入れなくてよいかもしれません。

中村委員長：文章に入れたいのであれば、最初に挿入してもらえば、その分は写真図版の方では省きます。

中嶋副委員長：土沢神楽の方は、文章の中に挿入する写真はありますか？

吉田委員：最初から入れてよいものか分からなかったもので、一応写真は省きました。あとでまとめて入れるのかと思っていました。

中村委員長：もし、文章の中に入れたいのであれば、入れてもよいと思います。私が書いた奉納神社の文章の関係でも、神社の写真を全て撮ってあるので、当初は1枚ずつ入れようかと思っていましたが、それは調整します。

中嶋副委員長：文章中の写真は、全て写真図版の方へ入れてもらってもよいです。

中村委員長：全部後ろに入れるのですか。それはそれで文章を直すことがないので、すっきりするかもしれません。後ろに写真をまとめる方が編集も楽になります。では、そうします。

中嶋副委員長：よいのですか？

中村委員長：そうしましょう。今からはめ込んだりすると、ごちゃごちゃになるので、後ろに写真を全部まとめることにします。写真図版に番号を付けて、文章には「写真図版〇〇参照」などに入れることにすれば、校正もしやすいと思います。入れたい写真は用意しておいてください。

中嶋副委員長：昔の衣装や権現様とか、舞っている写真、また、私が持っている

い写真で、一ノ倉さんのところにあった写真が手に入るようだったら掲載したいという話題が以前に出ていました。お弟子さんと一緒に岳神楽の方々と写っている写真があるようでした。

中村委員長：とにかく、載せたい写真を用意してもらえれば。私も行事とかの写真を用意します。カラーで載せたいものもあるでしょう。カラーのページも予定ではありましたよね？

小田島係長：以前にいただいた見積もりでは、写真図版 80 ページのうちカラーは 8 ページとなっています。

中村委員長：現状からして、実際は写真に 80 ページは配分できないでしょう。例えば、カラーを 8 ページ程度で、白黒を 50 ページ程度後ろの方に入れることなどが考えられます。

菊池委員：1 ページに 1 枚とは限らないですね。

中村委員長：1 ページに 1 枚は難しいです。A 4 なので、組めば 2 枚はきっちり入ります。3 段組にすれば少し細くなるかも知れないが、3 枚も十分に入ると思います。あと、分けるのであれば 4 枚ずつ入れれば 8 枚は収まるでしょう。ただ、8 枚だと少し寂しい感じになるかもしれません。

菊池委員：小さくてもよい写真はあります。

中村委員長：例えば御面とかであれば、8 分割でもかまわないと思います。古い写真は探していただいて、ぜひ載せたいというものを用意していただければ、その中からバランスをとって載せればよいと思います。演目の写真は、足りないものがある場合は、多くの写真を撮っている江越さんに協力を依頼します。あと、カラーでどのようなものを載せるかということがあります。

中嶋副委員長：おそらく両方撮っていると思うので、両方の良さそうなものをいくつか提供していただくことにしましょうか。江越さんの力作を。

中村委員長：道具類は撮っていましたか？

中嶋副委員長：撮っています。

菊池委員：面も撮っていますか？例えば、並べたものを撮っているとか。

中村委員長：そちらでは撮っているものがありますか？

菊池委員：いえ。撮っていなければ、撮る必要があるかと思いました。

中村委員長：撮っていると思います。1 枚 1 枚ではなく、集合写真だったかもしれませんが。土沢神楽の方は写真を撮っていますか？

吉田委員：江越さんが、1 枚 1 枚撮ったかと思います。

中村委員長：そうですね。おそらく、1 枚 1 枚全部撮っていますね。そうしますと、報告書としては、あとは体裁合わせと、やはり聞き取り調査分の調整ですね。そして、極力減らすということで、写真は 50 ページ前後で、本文は 200 ページ少し超えるかもしれないけれども、そのあたりで調整します。再度見積もりをもらって調整し、予算内で間に合うようにしたいと思います。項目ごとのつなぎの文章は、私が書きます。なんとか、250 ページから 300 ページの間

で調整したいところです。

中嶋副委員長：重複している部分がありますね。石鳩岡神楽の伝承者の系図が、異なる体裁のものが2つあり、文章の中にも重複する内容の記載があります。

菊池委員：2種類の系図を出しましたが、どちらかにしてもらってよいです。

中村委員長：文章に系図に関わる内容があって、そのほかに系図的なものがあるのは気になりませんが、系図が2種類あるなら片方はいらないと思います。

菊池委員：2種類あるのは、以前に提出した途中までのものと、最新版に直したものがあからずです。今回提出したものには、現在の若手を追加してあります。

中嶋副委員長：では、そちらの方がよいですね。

菊池委員：ただ、確かに氏名が縦書きと横書きで違っているところなど、体裁は少し異なります。

中嶋副委員長：文章の方は、一ノ倉保さんが書いたものから見ると、昔どういう人たちがいたかという書き方になっています。

中村委員長：それはよいのですが、系図は2種類必要ないです。

中嶋副委員長：最新版をぜひ。

中村委員長：聞き取り調査分は、中嶋さんと手分けしてやりますか。

中嶋副委員長：その上で、聞き取りした皆さんにも見ていただきたいです。

中村委員長：調整後、なんとか9月中にその方々に送ればと思います。そうしないと、間に合わないでしょう。あと、菊池一成さんの文章について、昔の聞き取りをしてもらった分が6ページほどあり、菅原盛一郎さんのことや、神楽についていろいろ書いてあるので、この中の一部を参考資料として、余裕があればこれも載せます。確か、伊藤巳太郎さんや一ノ倉保さんのこと、当時どのように練習していたかなど、話も面白く、なかなか聞けない内容になっています。ページに余裕があった場合に、1～2ページに絞って載せます。石鳩岡と土沢の伝承地を示す地図も載せる必要があります。地図を載せて、伝承地の場所を示します。可能なら師匠の岳神楽と大償神楽の場所も。少なくとも、大迫から東和までは載せます。

中嶋副委員長：2つの御神楽の位置を。

中村委員長：道が分かればよいでしょう。拝峠のところに石鳩岡の説明板がありますから、それを含めて入れた方がよい。地図は一番最初の方に載せますか。

中嶋副委員長：地図の白抜きを使うのはどうでしょうか？

中村委員長：白抜きだと、道路とかが分からなくなるのでは。普通の地図の方が分かりやすいと思います。花巻市の1/25000があるので縮小して使うか、または、1/50000 を使ってもよいでしょう。白抜きにして川とか道路を入れるのも簡単ですが、やはり周りの町とか地図的なもの、位置図だからそういうものも見た方がよいと思います。山を越えて来るということも分からないと。それは、私が慣れているのでやってみます。あとは、写真と聞き取り調査分を調整したものができれば、発注できそうですね。

最初にカラーページを載せて、地図は東和町の概要の前あたりに載せることにします。聞き取りの関係が、現状では 130 ページあるようなので、調整してみます。削る部分は、中嶋さんと打ち合わせして決めます。こちらで調整した原稿を9月中に聞き取りした方に送付して、10月中旬頃までに削りたい部分や補足したい部分についての回答と、報告書への掲載の承諾をいただくようにします。なんとかこの部分でページ数の調整を図りたいと思います。それから、土沢神楽の舎文集は、3種類のうち1種類を掲載することにします。あとは、石鳩岡神楽さんと土沢神楽さんに載せたい行事の写真や古い写真等を用意していただき、私の方でも行事を撮った写真がありますので、見ていただいて写真のページ数を調整したいと思います。割り付けの用紙も作ってきます。それで、はめ込みを決めて、ページ数を調整したいと思います。カラーで載せたいものがあれば、カラーで載せます。先ほど話しましたとおり、250 ページから 300 ページ以内にまとめて収めたいと思います。概ね原稿が決まりましたら、序文を書いていただくのをどうするか、その段階で相談したいと思います。教育長のみにするのか、元文化庁調査官にもお願いするかどうかは相談します。次回の委員会に、文化庁調査官には来ていただけるでしょうか？

平野課長：まだ、日程調整はしていません。早めに、11月のいつ頃とか決めこんでいけばよいかと思います。

中村委員長：可能であれば、次回の委員会に来ていただき、報告書についてご指導いただければと思います。そのほかに、印刷発注前に来ていただく機会はないでしょうか？

平野課長：ないと思います。

中村委員長：来ていただき、仮に不足部分や過剰な部分についてご指導いただいたとしても、その後、2～3週間もあれば調整は可能です。そういう方向でいきましょう。

平野課長：委員長として最後に何か書くページはいらないでしょうか？

小田島係長：編集後記とか。

中村委員長：では、巻末に1ページくらい、お世話になった方々への謝礼などを書きます。それは、原稿がまとまってからにします。ページ数が多い状況ですが、もし吉田さんや中嶋さんの方でさらに必要な文章がありましたら、足して構いません。あとは何とか調整します。本日、岩手県からも来ていただいておりますので、何かありましたらご指導をお願いします。

県教委 澤口主任：私の方で心配していたのは、補助金の関係です。国の方から、不相应な不用額のないようにとの指導がありますが、今回はページ数が多くて削らなければならないというお話しですので、そこはあまり心配ないと思いつながら聞いていました。

中村委員長：ただし、入札をかけると金額がかなり下がる場合もありますので。それでは、次のときまでに写真はよろしくをお願いします。聞き取りの分は、私

と中嶋さんで調整します。つなぎの文章は私が足して、各項目の文章がつながるようにし、報告書の体裁を作りたいと思います。それで、良いものを作りたいと思いますので、よろしくお願いします。

菊池委員：写真は、10月18日までに揃えておけばよいのでしょうか？

中村委員長：写真はどうしましょう？紙のものもたくさんありますよね。

菊池委員：一人の人が出してくれるとよいのですが。

中村委員長：みんなバラバラに借りて来ると、返すときに大変です。

中嶋副委員長：裏に名前を書いてもらうとか。

中村委員長：その方の名前を書いてもらえればよいと思います。

中嶋副委員長：データ化もしなければなりません。

中村委員長：データ化は、それほど時間はかかりません。スキャンで読み込めるなら読み込んでしまいます。データをUSB等に入れてもらえばよいのですが、問題は紙焼きののでしょうか。それらを11月に持って来てもらうのでは、遅いのでしょうか？

小田島係長：11月では遅いと思います。

中村委員長：10月18日までに事務局に届けてもらいますか？

小田島係長：はい、そのような形でもよろしいです。

平野課長：何日か、お借りすることになると思います。

中村委員長：そのようにしていただければと思います。私の方でも、行事関係や神社関係など、必要なものを用意しておき、良いものを選びたいと思います。

③ その他

中村委員長：その他は何かありますか？

小田島係長：事務局の方からは特にありません。

中村委員長：委員の皆様から何かありますかでしょうか？それでは、その他がないようですので、協議は締めたいと思います。どうもありがとうございました。

4 その他（特になし）

5 閉 会（小原課長補佐）